

進路指導室へようこそ2

前橋女子高校進路指導部

令和6年度 MJ 進路通信 第9号

令和6年5月14日(火)発行

■中間考査に向けて～放課後の時間をどう使うか～

高校総体も終わり、来週からは中間考査が始まります。1年生にとっては初めての定期試験。結果もそうですが、中間考査に向けての計画的な学習ができるかどうかは、将来的には入試に向けての長期的な計画作成力につながります。そして、部活動がいったん区切りがつくこの時期、「放課後の時間をどう過ごすか」ということが効率よい学習のためには大切になってきます。是非皆さんには、「放課後の勉強に最も居心地の良い場所を見つける」

努力をしてほしい。前女には学習室をはじめ棟間通路や廊下など、いろ

いろなところに勉強用の机が用意されており、それぞれお気に入りの場所で勉強する生徒がとても多いです。常に「同じ場所で勉強する」というのが実はとても大事で、それは「そこに座ると何となく勉強しなくてはいけないような気になる」からなのです。自宅で勉強するときも同じ。「やらなくちゃ」というストレスを感じながら勉強を始めるのではなく、そこに座って何となく自然に勉強が始まった、という習慣が身につけば安心ですよ。放課後から下校時刻までの90分間、落ち着いて勉強できる場所を、校内で探してみませんか？

自主学習場所	1年		2年		3年		卒業生3年次	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
前女	111	39.2	72	26.2	76	28.1	112	40.0
学校外の図書館等	43	15.2	83	30.2	59	21.9	39	13.9
塾・予備校の学習室	95	33.6	78	28.4	92	34.1	91	32.5
その他	19	6.7	29	10.5	26	9.6	22	7.9
なし	14	4.9	12	4.4	16	5.9	12	4.3
合計	282	99.6	274	99.6	269	99.6	276	98.6

昨年度の卒業生は学校をたくさん活用した学年でした

■OG 進路講演会

先週1週間、本校OGで現在群馬大学医学部5年生のSさんが、地域保健実習として本校においてさまざまな研修活動を行っていました。せっかくの機会なので、9日の昼休みに「OG講演会」を開催し、医学部生の勉強や医療現場の実態、大学生活などについて話をしてもらいました。医師になるための勉強が大変であることは当然ですが、コミュニケーション能力の高さというのも医師として仕事をするにあたりとても大切な力であることを実感したそうです。また、医学部生とはいえ、勉強だけの大学生活ではなく、サークルやアルバイトなど充実したキャンパスライフを送っている様子でした。大学生としての生活をイメージするのに少しは参考になったのではないのでしょうか。



■TEAM-OG アンケート「うちの大学では、こんな授業があります」

大学での授業は、高校までのものとは大きく異なり、内容や形式も様々です。必須の講義もありますが、それ以外は興味関心に応じて自由に受講できるのも特徴の1つです。特に1、2年次は「一般教養科目」として、幅広い教養を身につけることが推奨され、専門に関わらず多様な講義が用意されています。今回は、TEAM-OGの先輩方から、それぞれの大学で開講されている、おススメの講義を紹介してもらいました。どれも面白そうですね。

【国際情勢を読み解く】(立教大学文学部)

池上彰さんが授業してくれます。私はまだ取ったことないですが、中身がだいぶ濃い授業だそうです。

【海外留学ゼミ】(信州大学人文学部)

海外留学した時に、いざという時に困らないようにあらゆる予防の知識を身に付ける授業です。ゼミなので、グループワークが基本。この授業は他の授業に比べてもかなり自由で、お喋りしたりミニゲームをしたり、お菓子を食べたりしながら授業を受けられます！一般教養科目なので、どの学部の人でも受けられます！

【教育カウンセリングの実践と事例研究】(群馬大学共同教育学部)

教育学部ならではの授業で、生徒との面談のやり方を学ぶ授業。自分自身、中高のときに面談が少し苦手だったの

で、子どもたちが安心して話すための色々な工夫を学ぶことができている面白。

【東北大学の歴史】（東北大学工学部）

友達に教えたいくなるような東北大の「ハー！」な情報を知れちゃう授業。先生も面白いし、裏話とかも聞けるのが魅力！！

【総合教育セミナー】（慶應義塾大学理工学部）

「海外から見た日本文化」をテーマに、ディスカッションやプレゼンを行います！私は日本の音楽について客観視したい他、プレゼンカを身につけたいと思ってこの講義を取りました。ディスカッションでは、先生がお題を出して、皆で話し合うのですが、色々な意見が出て、視野が広がる感じがしてすごく楽しいです！プレゼンでは、各自テーマを決めて発表します。少し大変そうですが、やりがいを実感できそうで楽しみです！

【芸術と文学 シェイクスピアへの誘い】（北海道大学文学部）

この授業は、シェイクスピアの作品を英文で読んで場面ごとに登場人物の心情を考えていくものです。文学としての表現だけでなく、劇の舞台を活用して人物の設定を紹介したり、小道具がなくても場所の設定を感じ取れたりできる表現の工夫が理解できるようになります。「芸術と文学」という分野は、北大の文系学生は必ず取らなくては行けないので、私も最初は仕方なく取ったのですが、授業を聞くと非常に面白かったです。芸術・文学に興味がなくとも、ドラマや舞台が好きなら楽しめる授業だと思います。

【障害者雇用の現状と将来】（慶應義塾大学理工学部）

いろんな企業の方たちが毎回講義をしてくださいます。障害者雇用率が急速に上昇している今、何が変化していて、そこから見えてくる課題について考えます。企業の社長さんたちもいるので交渉すれば企業見学なども優位に行ってもらえることもできます。

【生物資源フィールド学実習】（筑波大学生命環境学群）

1回目の授業の時は、牛のスケッチをしました。2コマかけてスケッチしたので、牛のありのままの姿が少し見れた気がします。2回目の授業の時は、市販のトマトから種を取り出して、種が発芽するか観察したり、100以上の品種があるさくらそうを見たりしました。牛を近くで、さらに長時間見たことが今までなかったのでおもしろかったし、牛の自然な姿が見れておもしろかったです。

【金融リテラシー概論】（埼玉大学経済学部）

資産運用や住宅購入・ローン、保険加入などのお金に関する制度や仕組みについて学習する授業で、金融庁や金融広報中央委員会などから各分野の専門家が来て、オムニバス形式で講義をしてくださいます。今後の人生に直接活かすことができる、お金に関する知識を身につけることができる点がとても良いなと思います。また、実際に自分のライフプランを描いてみる回もあるので楽しみです。

【映画論】（明治大学文学部）

そのままです(笑)。映画の制作について学べる授業です。普段何となく映画を観てしまっていますが、知っているとし違う目で観れて面白いです。例えば、私たちが観ている方面（観客側）は映し出されないという「第4の壁」や、ハリウッド映画特有の悪役の特徴など、言われないと気づかないことが映画には隠されているのだなと実感しています。

【行動と視機能】（大阪公立大学看護学部）

眼について学ぶ授業で、眼の機能や構造について学ぶところまでは高校の授業と同じですが、それらの知識を身につけた上で、スポーツが得意な人とそうでない人の目の使い方を学んだり、動体視力を高めるトレーニングをしたりと、学んだ知識を活かせる授業で面白いです。

【自然科学総合実験】（東北大学工学部）

様々な理系分野を融合した実験を行っています。高校までとは異なり、教科書に答えは載っておらず、自分が実際に行った実験で得られた結果を用いて考察をします。また、1つの課題が終わるたびに目的、原理、実験方法、結果、考察、結論、引用を自分の言葉でまとめ、レポートとして提出します。量がとても多くて大変ですが、様々な分野の実験ができるのは楽しいです。また、科学的な文章を書く練習にもなります。